

# 平成 29 年度 第3回東御市総合教育会議 会議録

---

## 1 日 時

---

平成 29 年(2017 年)12 月 18 日(月) 午前 10 時 34 分から 11 時 30 分まで

## 2 場 所

---

本庁舎2階 公室

## 3 議 題

---

(1)市内小学校の来年度の 1 クラス化の対応について

(2)小学校施設の長寿命化の今後について

(3)湯の丸高原施設整備の現状について

## 4 出席者

---

○市長 花岡利夫

○教育長 牛山廣司

### ○委員

教育長職務代理者 下村征子

委員 小林経明

委員 小林利佳

委員 直井良一

### ○事務局

岩下教育次長、小林教育課長、勝山生涯学習課長、

柳橋青少年教育係長、若林学校教育主査

## 会議録

---

岩下教育次長

ただ今から平成 29 年度第 3 回総合教育会議を開催します。

はじめに市長からごあいさつをお願いします。

花岡市長

ご多用のところお集まりいただきありがとうございます。

先の衆議院選挙で自民党が大勝しました。その要因の一つとして、本当かどうか分かりませんが、新しい事をどんどんやっていく改革政党だと若い人達を含め多くの方がイメージをし、共産党が議席数を半分までにしてしまったのは、何でも反対する保守政党、変えることに関して全く前向きではないと多くの方がイメージしたのではないかと聞きました。我々が持っている革新というイメージ、保守というイメージはそれぞれあるにしても、現実の社会に対してどのように対応していかなければならないかを考えた場合、若い人達はやるべきことをしっかりとやっていく、変えるべきことはしっかり変えていくとする考え、松尾芭蕉の言葉でいうと「不易流行」、このことばを感覚的に掴んでいるのかなと思いました。このことは、我々が市政をお預かりし、将来に向けてどのような地域であり続けたいかを物語っている面があるのではないかと思います。

リスクが無い挑戦は挑戦とは呼ばない、とことばの定義はありますが、そのような中において、いろんな意味で財政的な制約はありますが、今一番苦しい時期の中で、例えば下水道事業の返済、市民病院・土地開発公社・振興公社の運営について、何とかしなくては大変になるという状況下において 10 年前に言わせていただいたことを、ようやく手をつけさせていただいております。将来を見据えながら今を変えていく努力を始めているという評論家ではなく、自分達が主体的に何をどうしていくか、よりよい地域を、よりよい学校を残していけるのか、ということに関して方針を皆で共有できたらよいと思っています。本日はよろしくをお願いします。

岩下教育次長

続きまして、牛山教育長をお願いします。

牛山教育長

本日 3 点の懇談事項が挙がっておりますが、激動する社会の入り口と私は考えております。これまで学校という枠組みという考え方がありました、オリンピック以降、おそらく予想もつかない方向に変わっていくのではないかと思います。新しい教育課程をオリンピックの年に完全実施しますが、大きく変わる内容は入っていないかもしれないが、学習方法あるいは物の捉え方について大きく変わっていくのではないかと思います。そのような中で私達がしっかりとついていけるかどうか先取りをして現場の学校に無理が生じないように、今後しっかりと取り組んでいかなければならないと思います。今日の話し合いの中で、少しでもそのようなことが見えればよいと思います。

岩下教育次長

ありがとうございました。進行役は、教育次長が務めさせていただきます。  
では、会議事項に入らせていただきます。

(1)市内小学校の来年度の1クラス化の対応についてですが、個人情報、あるいは学校が特定できる内容があります。非公開としますが、よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

岩下教育次長

それでは、非公開とします。

牛山教育長

市内1校の問題だけではないので、市内小学校全体として今後の児童生徒の推移等、わかりやすい資料を用意し誤解のないように説明していきたいと思います。

岩下教育次長

次に(2)小学校施設の長寿命化の今後についてお願いします。

小林教育課長

小学校施設の長寿命化の今後についてですが、今回は小学校のトイレ改修の進捗状況について説明します。

若林学校教育主査

今年度、田中小学校及び滋野小学校においてトイレ改修をしましたが、便器数は4割減となっております。また、これまでなかった多機能トイレを設置しておりますが、祢津・和・北御牧小学校においても設置する予定です。各小学校ともに先生と相談しながら進めており、現在のところ添付の設計図のとおりとなっております。資料説明。

岩下教育次長

小学校施設の長寿命化計画の中で先行していますトイレの改修の進捗状況について説明しましたが、何かございますか。

花岡市長

改修した2小学校のトイレは見ていただいていますか。

全委員

見えています。

下村委員

新しく改修したトイレはきれいに清掃をしてほしいと思います。

花岡市長

議会で、「教員数は増えている中、職員室が狭いのではないか」とご指摘をいただきました。長寿命化計画を進めていく中において、子どもの人数、必要な教室数、障がいを持っている子どもたちが一緒に学ぶために必要な施設整備など、総合的に配慮しながら進めていかなければいけない、また二重投資とならないように進めていきたいと思っています。そうしたことから職員室のあり方について検討していくことも必要であると思います。

牛山教育長

職員室、あるいはパソコン教室についても今後どのようにICT教育を進めていくのか、計画の中で考えていく必要があります。今回はトイレを主に改修していますが、今後も職員室やICT教育に関連する施設等、種別に改修計画を立てていく必要があります。その先に小学校の長寿命化計画の最終的な段階があると思います。優先順位を考えていく必要があります。教師の業務軽減とも関係してきます。教材が出来て、その教材を皆で共有できること、教室と連動して使える、その中で職員室の形が見えてきます。教室にICT教育を導入する前に職員室や職員の仕事環境を改善していくことが必須だと思います。

岩下教育次長

来年度から祢津、和、北御牧小学校のトイレ改修を行っていきたいと考えていますが、年明けの国の補正予算次第で改修の時期は決定します。補正予算が付かなければ年に1校ずつの改修となります。

長寿命化に係わることですが、今年度作成しました長寿命化計画に基づきICTは前段に検討予定ですが、校舎の耐力度調査をしたうえで改修を考えていくこととなります。

耐力度調査の予定年度は田中小学校 2021 年、滋野小学校 2025 年、北御牧小学校 2026 年、和小学校 2028 年、祢津小学校 2029 年です。該当年度の前の年度から検討に入る予定です。

小林経明委員

調査は既に終わっているのではないのでしょうか。

小林教育課長

耐力度調査につきましては、定期的に行う必要があります。長持ちさせる前提条件として定期

的な耐力度調査をして、そのときの状況を見て適切な処置をとることで長持ちさせられるようになります。

小林経明委員

10年毎くらいに調査は必要になるのですね。

小林教育課長

そうです。

岩下教育次長

長寿命化計画について、他にございますか。

全員

なし。

岩下教育次長

(3)湯の丸高原施設整備の現状についてお願いします

花岡市長

この件は、会議事項ということではなく、こちらからの情報提供の一つとしてお聞きください。湯の丸高原施設整備の状況については、議会で説明させていただいております。資料説明。

牛山教育長

イメージ図を見まして、非常によいと思いました。ホテルを含めて行き来するのは電気自動車が良いと思っています。グラウンドからプールが近いという環境は他にはないと思います。

下村委員

市長の想いがずっと繋がっていることがすばらしいと思います。想いがなければ前に進まない。想いと同時に誠実、謙虚に絶対努力を怠らない稲盛和夫さんの言葉と同じですね。がんばってください。

岩下教育次長

それでは第3回総合教育会議を閉会とさせていただきます。